

大学設置基準改正と図書館

法学部 法律学科

二宮 正人 (NINOMIYA Masato)

2022年10月に大学設置基準が改正（令和4年文部科学省令34号）され、求められる大学図書館の機能や役割にも変化が生じた。改正にあたっては、大学図書館の機能が教育研究の促進にとって不可欠であるという認識のもと、教育の質保証を実現するためにも、①紙媒体に留まらない各種資料の整備・提供、②教育・学習の場としての整備、③図書館間の協力体制の整備、④新たな機能を十分に発揮させるために必要な専門的職員の配置等が議論されてきた。

改正のポイントの一つに、教育研究の促進への関与の明確化がある。改正後の第38条には、

「教育研究を促進するため、」という文言が追加されるなど、学術的な資源を整備する意味を明らかにするとともに、図書館と教育研究との関係を示している。二つめは、来館型特化施設からの脱却である。旧規定では、「大学は、図書、学術雑誌等の資料を図書館を中心に系統的に備える」、また「図書館には閲覧室、整理室等を備える」とされるなど、利用者が直接来館をすることを前提とした枠組みであった。改正では、図書館を中心に系統的に整備する資料として「電磁的情報により提供される学術情報」が規定に加えられたほか、「図書館に閲覧室、整理室等を備える」ことを求める規定自体は削除されている。

大学図書館には、緊急時にも対応可能な教育研究環境の整備、学術情報資源のデジタル化への対応、社会のDX化に順応しうる人材の育成などの

観点から、「場所や時間を問わない、持続可能な情報提供体制の構築・運用」が求められることになった。

このような変化に伴い、従来型の図書等の収集・整理・貸出業務に加え、新たな業務も生まれてきてお

り、他大学図書館等との協力の範囲も拡大してきている。予算や人員の拡充のない中、これらを支えているのが、図書館職員であり、北九大でも、延べ17名のスタッフが従事しているが、職員さんたちが抱えている就労上の課題は根深い。

今後、北九州市立大学図書館においても、長期にわたって、このような変化に真摯に対応していくことが求められる。同時に図書館スタッフが、専門家として、その機能が十分に発揮できるような就労環境を創出していくことも、大学の責務である。国立大学図書館協会は、いわゆる「ビジョン2025」を打ち出し、「知の共有：蔵書を超えた<知識や情報>の共有」、「知の創出：新たな知を紡ぐ<場>の提供」、「知の媒介：知の交流を促す<人材>の構築」の3つを重点領域として動き始めている。北九大においても、学生や職員も巻き込んだ大学全体での、地道な、かつ将来を見据えた建設的な議論を始める、そういった時期に来ている。



【11月は北九大図書館の読書月間です】

今年もたくさんのイベントを予定しています。

○ブックトーク 11/10(金)

…先生方のオススメ本語りを聞いてみませんか？

○企画展示…本館2階展示スペース

○読書推進…5冊以上借りると…？

○ブックハンティング

…館内でダイバーシティ関連の本を探せ！



図書館のダイバーシティって?

ダイバーシティという言葉がいろいろなところで見るようになりました。

図書館内にもダイバーシティ関連図書という新しいカテゴリーが作られます。

北九大図書館の中に在る【ダイバーシティ】について見てみましょう。

ダイバーシティ関連図書

：多様性に関連する資料は、あらゆるジャンルにわたっています。

ひとくちに多様性と言っても、社会、民族的背景、異なる性別、性的指向など……世界は多様性にあふれています。

それは図書館の本に置き換えても同じことです。どの分野にも多様性に関する本はあるのです。北九大図書館ではそれらの本に印をつけていくことにしました。

背ラベルの上にいろんな色で『ダイバーシティアンドインクルージョン』という文字をつけています。様々な場所にあるダイバーシティ関連図書を見つけてください。

new!!!

SOGI 多様性推進図書コーナー

：性的指向・性自認の多様性について学べる本が揃っています。LGBTQIA+についての本やDVDが多数置いてあるコーナーです。マンガもたくさんありますよ。

図書館HPのOPACで、愛称の『なないろのほんだな』と検索すると、SOGI 多様性推進図書コーナーの本の一覧を見ることができます。

SDGs コーナー内 SDG5 コーナー

：SDG5「ジェンダー平等を実現しよう」に関連した本が置いてあります。女性をめぐるジェンダーの問題についての本などです。

でもダイバーシティに関連する本は館内にとってもたくさん！
図書館職員だけではとても手が足りないので、図書館を利用して下さる皆さんにお手伝いをお願いしています。
図書館内でダイバーシティ関連の本を見つけた方は、本館7Fカウンターまでお持ちください。ダイバーシティ関連図書を見つけてくださった方には北九大図書館オリジナルノベルティを差し上げます。



先生が最近読んだ本をご紹介します！

多和田葉子著『白鶴亮翹』朝日新聞出版 2023

主人公の美砂は、夫とともにドイツに移住したが、その後夫とは別れ、現在は一人でベルリンに暮らしている。ある日、美砂は隣人のドイツ人に誘われて太極拳教室に通うことになる。そこで様々な文化的背景を持つ人々と出会い、彼らと交流しながら、大戦前後のドイツと日本の歴史に引き込まれていく。

芥川賞や全米図書賞をはじめ、さまざまな文学賞を受賞している著者はベルリン在住である。炊飯器が話したり、幽霊が登場したり、全体的にはホソワカした雰囲気ではあるが、内在しているテーマは意外と社会派なのではないかを感じる。

女性として、また日本人として、日々の生活を通して著者が実感している多様性のメリット・デメリットが、美砂の日常を通して伝わってくる。

多様性のある社会をつくりあげていくうえで、一人一人が学ばなければならないことも多い。だが、多様性があるからこそ人間関係が楽になるのだと気づかせてくれる一冊である。

地域戦略研究所 深谷裕

北九州市立大学 ダイバーシティ宣言

北九州市立大学は、地域の教育・研究・地域活動の拠点として、学生、教職員、地域住民をはじめとする、大学にかかわるすべての人々の多様性や個性を尊重し、ダイバーシティの推進に取り組むことを宣言します。

ダイバーシティを推進するにあたり重要な大前提は、人は誰もがマイノリティになり得るということです。この基本的大前提をもとに、本学に属するすべての学生・教職員が国籍、障害、性別やSOGI(性的指向・性自認)、年齢、キャリア(働き方)等にかかわらず、あらゆる多様性を積極的に受け入れ尊重し、安心して個性と能力を最大限に発揮できる環境の整備に向けて取り組みます。その結果、誰もが不当な扱いを受けることのないような組織作りを心がけます。

一人ひとりが責任を果たし、お互いの人権を尊重し合い、誰一人取り残すことなく、みんなで協力し合える差別のない共生の場(学び、働き、それぞれの個性を伸ばせる場)を共に目指しましょう。

2022 年1月6日

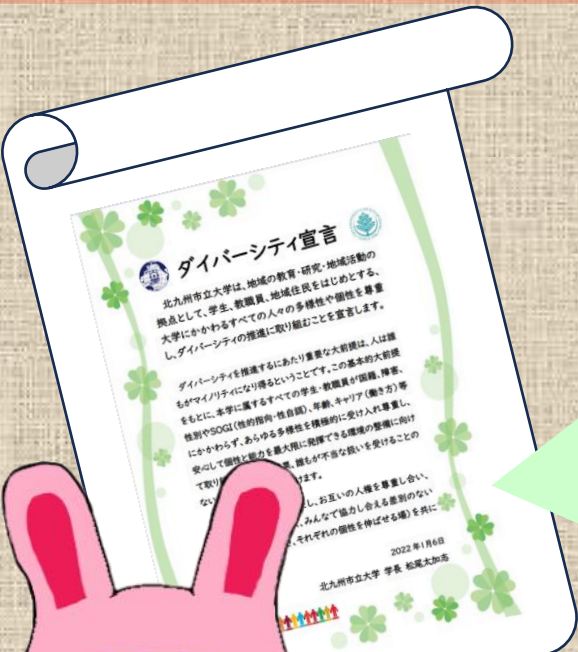
【ダイバーシティ】とは???

ダイバーシティはしばしば、ダイバーシティアンドインクルージョンというふうな、インクルージョンという言葉と一緒に出てきます。

【ダイバーシティアンドインクルージョン】

…個人のさまざまな違いを包摂し多様性を生かし価値を創造すること。D&I。

(JapanKnowledge/現代用語の基礎知識 2023)



大きなお耳で
みんなの話を聞くんだわん



よむけんのお仲間たち

(図書館サポーターのページ)



『エゴイスト』

高山 真 著

(小学館文庫／図書館所蔵有
請求記号 913.6/Ta56)

同性愛者である浩輔と龍太の恋愛が描かれます。愛は「エゴ」なのか、エゴは「愛」なのか。私自身「人を愛する」とは何かよく分かりません。ですが、本作で「愛」の意味がほんの少しだけ、分かったような気がしました。

(文3年 真武)

だより班イチ押しの本

だより班メンバーが、
イチ押しの本を紹介します♪
読書の秋…。
読んだことがない本や
気になっていた本を
手に取ってみませんか？

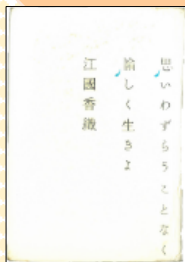
『i』

西加奈子 著

(ポプラ社／図書館所蔵有
請求記号 913.6/N81)

アイは養子として、何不自由ない家庭に引き取られたことがコンプレックス。自分がこの家庭に引き取られたことで、他の誰かの幸せの席を取ってしまったと思っている。苦しい生い立ちと一生向き合い生きていくアイの姿に、幸せとは何か深く考えさせられます。

(文3年 今村)



『おもいわずらうことなく 愉しく生きよ』

江國香織 著

(光文社／図書館所蔵有請求記号:913.6/E44)

女って、人ってどう生きるべきだろうか。3人の女性の恋愛を見つめながら、恋愛に悩んだ時、生き方に迷った時に私たちにそっと寄り添ってくれる物語。きっと貴方の人生にとって大切な言葉をもらうことのできる一冊。

(地1年 吉牟田)

『三匹のおっさん』

有川浩 著

(文藝春秋／図書館所蔵有
請求記号: 913.6/A71)

還暦を迎えた三人、キヨ(清田清一)、シゲ(立花重雄)、ノリ(有村則夫)。それぞれのんびりとした老後ライフを送るのかと思いきや——？
ジジイと呼ぶにはまだ早い、三人のおっさんたちが悪を斬る——！

(文3年 生盛)



Enjoy Reading!!

新メンバー紹介！

図書館サポーターに新しいメンバーが増えました！
今回は活動への意気込みを聞いてみました。

展示班所属です。つい本を手に取りたくなるような展示をしたいです！

(文学部 1年 田嶋)

絵を描くことが好きだったので、グッズ班に入りました。ブックカバーや葉など、本を読むときに目に入って嬉しくなるようなデザインを考えたいです。

(文学部 2年 後田)

本を読むのがもっと楽しくなるようなグッズ作りを頑張ります！

(法学部 1年 中島)

だより班とイベント班所属です。図書館を盛り上げていけるよう頑張ります。

(地域創生学群 1年 吉牟田)

読書という行為をもっと気軽に楽しんでもらえるような活動をしていきたいです。

(文学部 3年 武田)

小倉南図書館見学



サポーターピクニック



オープンキャンパスイベント



編集後記

今年も北九大図書館では11月を読書月間とし、たくさんのイベントを行います。10/28に先んじて全国大学ビブリオバトル2023北九大予選会が行われ、地区決戦に参加するチャンプ本が決まりました。11月もブックトークや展示、ダイバーシティ関連本のブックハンティングなどなど、たくさんの企画を行います。ぜひご参加ください。 (図書館員 伊崎)

北九州市立大学図書館

〒802-8577 北九州市小倉南区北方4-2-1
TEL: 093-964-4403 FAX: 093-964-4437
e-mail: lib-2@kitakyu-u.ac.jp

■開館時間■

月～土曜日: 午前8時55分～午後9時30分
日・祝日: 午前10時～午後6時
休館日等は館内やHPの開館カレンダーをご確認ください。
URL: <https://www.kitakyu-u.ac.jp/lib/>

北九州市立大学図書館

図書館だより No.208

■発行日■

2023年10月

■発行者■

北九州市立大学
情報化推進課